

# 地域での訓練や備えで被害を最小限に



竹の棒と毛布の簡易担架による搬送訓練

突然やって来る災害による被害を最小限にとどめるためには、皆さんの日ごろの訓練や備えが大切です。被災時には、地域の方々の活動が、被害の拡大防止に有効なことから、市では自主防災組織を支援しています。

## 自主防災組織の活動を支援

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地域住民の方々がバケツリレーなどで延焼を食い止めたり、建物から逃げ遅れた方々を救出するなど、自主的に救助・防災活動を行い、被害の拡大を食い止める大きな力となりました。

そこで、市では、阪神・淡路大震災の発生した平成7年度から、地域ぐるみで防災活動を行う「自主防災組織」を自治会単位で結成するようお願いしています。

市全体で地域防災力を向上させるためには、「市民・事業所」、「地域の市民で組織する自主防災組織等」、

